

「初めてのCAD データ管理&ここまでできる！モバイルでのCAD データ活用」セミナー

# Autodesk Vault 2015

## Inventor 3D / 2D データ管理

オートデスク株式会社 技術営業本部

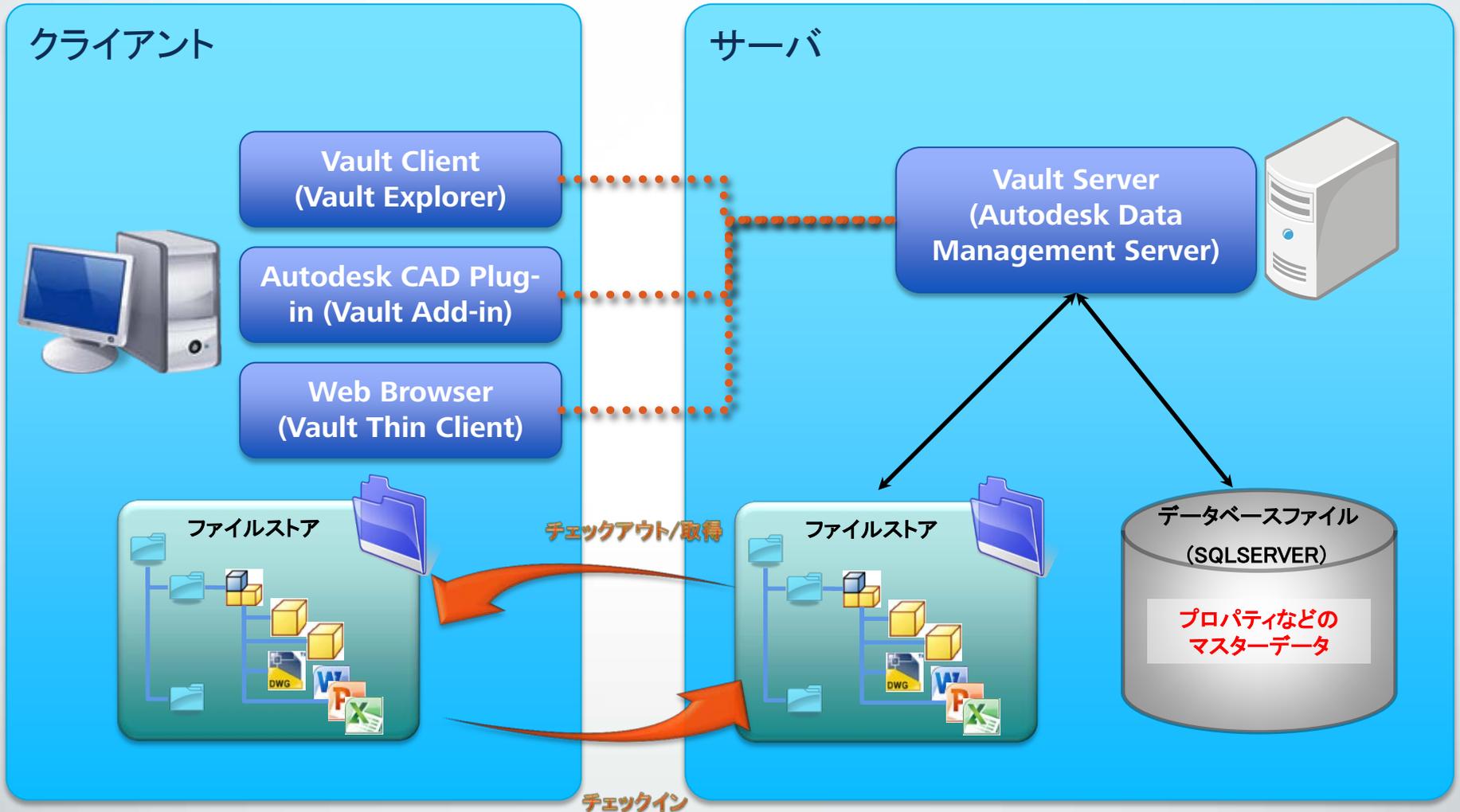
2014年4月



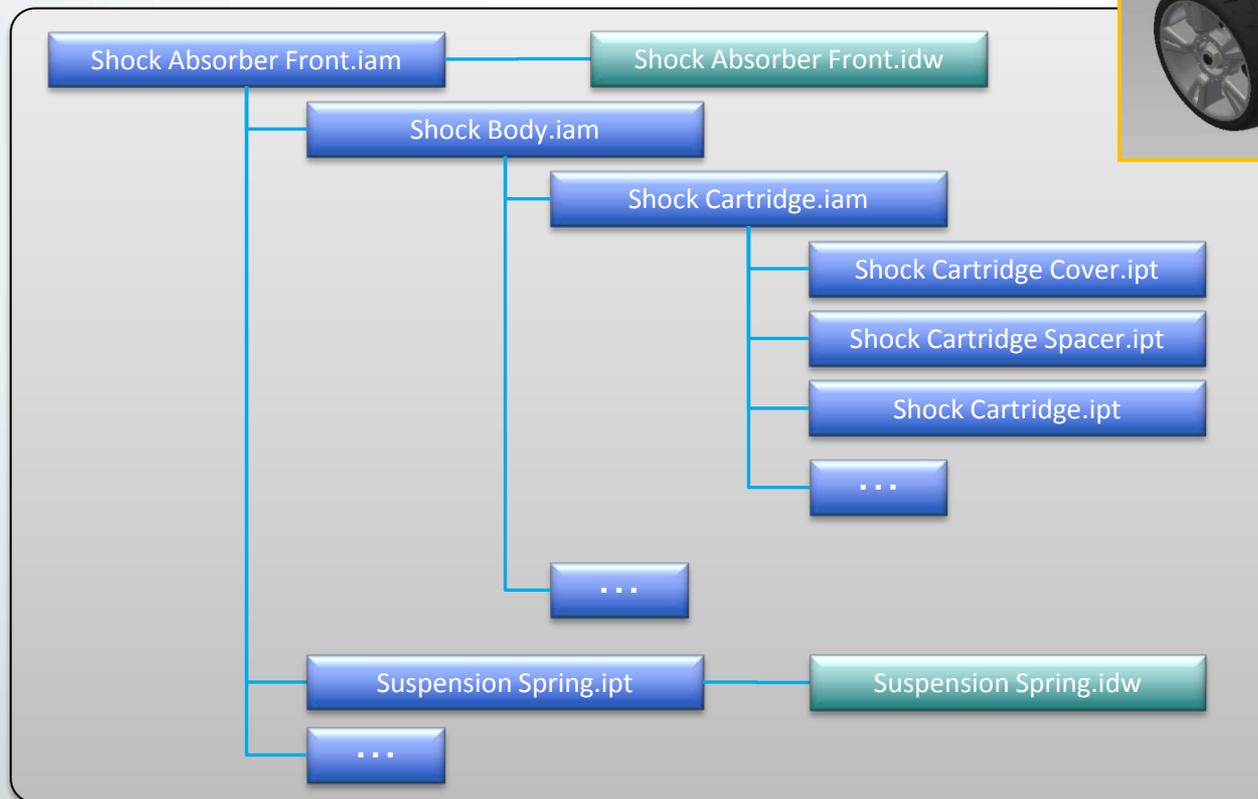
# 3D データ管理の課題と解決策

- 他のメンバが編集中なのか確認できない。  
→ チェックイン、チェックアウトによるデータの排他制御
- どのユニットを出図したか判断ができない。  
→ ライフサイクルによるステータス管理
- 流用設計の際、リンクが切れるため全ての関連ファイルをコピーしなければならない。  
→ コピーデザインでのデータ流用

# Autodesk Vault システム構成



# 本日のデモデータ



 : Inventorアセンブリまたは部品

 : Inventor図面(組図、部品図)

# Vault Client のご紹介

- 3 種類の Vault Client をご用意しています。



## Vault Explorer

Vault Explorer は

- ・Vault 構造の表示
- ・ファイルの追加、削除
- ・ファイルの様々な操作  
を実行できます。



## Vault Add-in Client

Vault Add-in Client は

- ・アプリケーション環境内の基本  
Vault 機能の操作
- ・データの検索  
を実行できます。



## Vault Thin Client

Vault Thin Client は

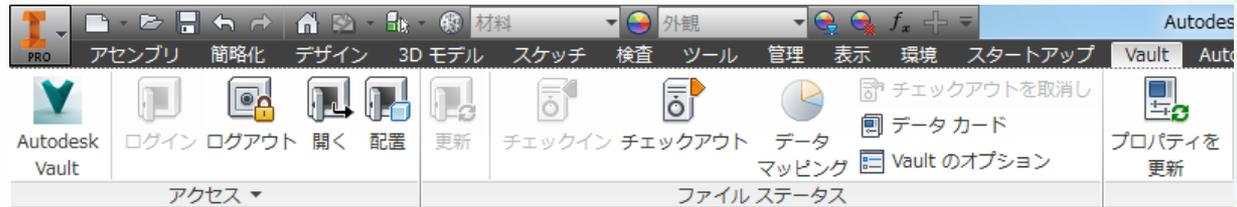
- ・Vault データの参照
- ・MS-Office データの追加  
を実行できます。

# Vault データの検索

- Vault 内のデータを素早く検索して情報を簡単に取得できます。

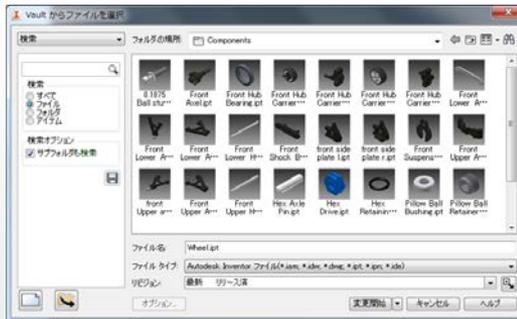
## Vault データの検索・配置

ファイルの検索、表示、配置より  
すばやく簡単に行えます。



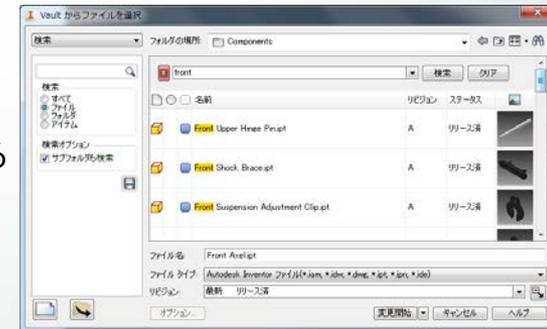
## Thumbnail 検索

データのThumbnail 表示で  
目的のデータを検索できま  
す。



## サーチパネル検索

選択したディレクトリから、  
指定した文字列が含まれる  
データを検索できます。

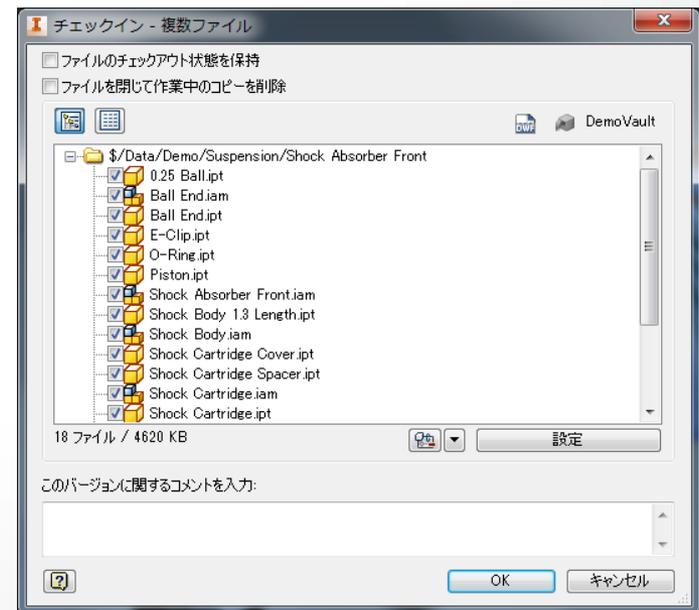


# データの登録と編集

- 設計中のデータを Vault に登録、もしくは Vault から取得します。

## チェックイン／チェックアウト

- ・設計中のデータをチェックインして、バージョン履歴を付けて変更内容を Vault に保存します。
- ・チェックインデータの関連ファイルも同時にチェックインできます。
- ・編集対象のデータをチェックアウトし、ローカルマシンに取得します。
- ・チェックアウトしたデータはロックが掛かり、他人は編集できません。

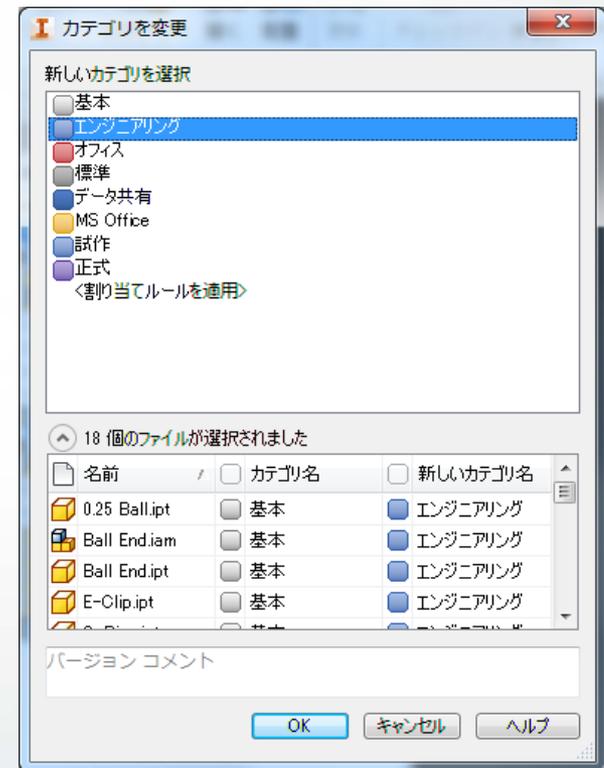


# データのカテゴリ

- ドキュメントやディレクトリを簡単に分類して動作やライフサイクルを定義できます。

## カテゴリ設定によるワークフローの効率化

- ・ カテゴリを設定して履歴やライフサイクル、ステータス、版管理を自動的に定義できます。
- ・ 複数のファイルをまとめて変更できます。
- ・ Vault Add-in Client から直接カテゴリを設定、変更できます。

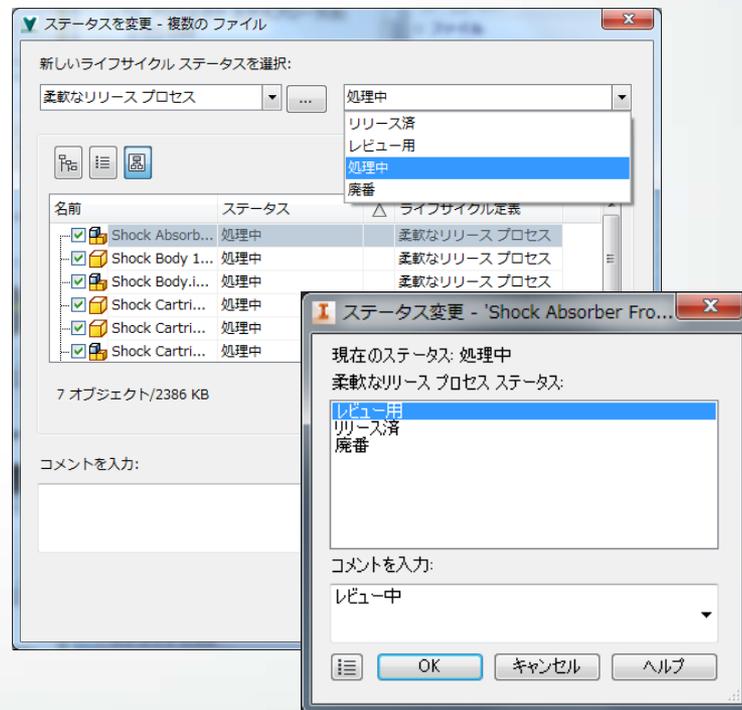


# ライフサイクル

- ファイルやフォルダにライフサイクルを定義して、プロジェクトの進捗状況をトラッキングできます。

## フォルダ、ファイルのライフサイクル

- ・ファイルやフォルダ単位でライフサイクルを定義し、進捗状況を確認できます。
- ・ステータスによってアクセスを管理できます。

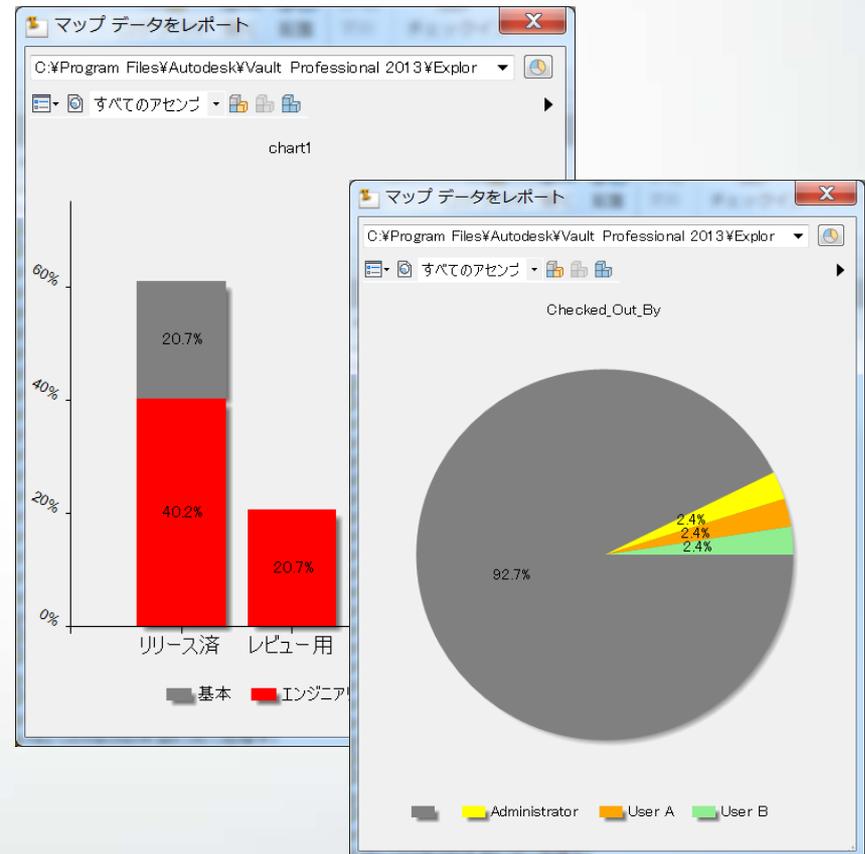


# マップデータ

- Inventor で開いたモデルの進捗状況をグラフやレポートで確認できます。

## レポートツール

- ・ 各モデルのステータス状況や作業中のデータをレポート表示できます。
- ・ Vault で予め用意されたテンプレート、または独自のレポートテンプレートを作成できます。

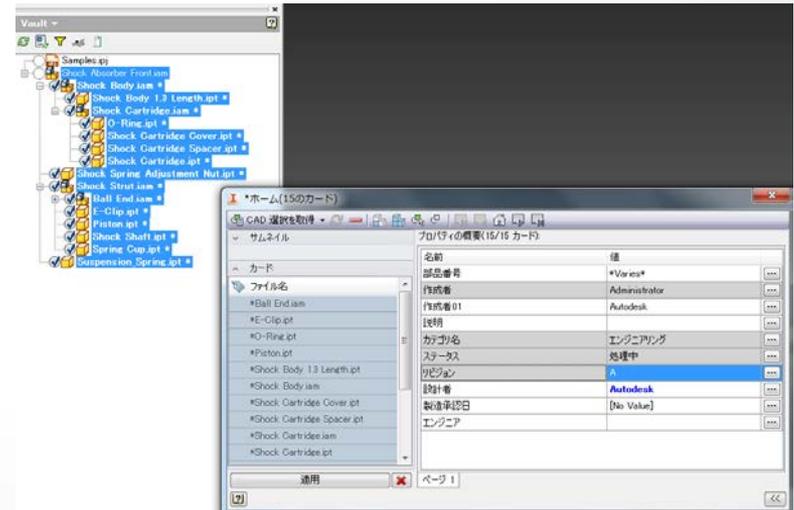


# データカードによるプロパティ更新

- 選択した Inventor データに対応する Vault の詳細情報やプロパティをまとめて参照・更新できます。

## 複数ファイルのプロパティ参照

- ・複数のプロパティ情報を纏めて確認することができます。
- ・選択した各ファイルを纏めて更新することも可能です。



# Vault データの流用

- Vault に登録してある過去の設計データを再利用して新規モデルを作成することで、設計業務を短縮できます。

## コピーデザインによる関連データの再利用

- ・ 元データと関連する構成、ファイルを再利用できます。
- ・ ファイル毎に流用、置換、コピーを選択できます。
  - ・ 流用：もとのデータをそのまま利用
  - ・ 置換：別のデータに置き換え
  - ・ コピー：もとのデータをコピーして新規データを生成

